

“読みたい”を引き出すために

出水市立江内小学校 教諭 園山 るみ
教諭 片平 聰子

1 はじめに

本年度創立145年を迎える本校は、児童数61人、職員数14人、学級数8学級（特別支援学級2学級）の学校である。出水平野の北西部に位置し、北に八代海、東に有名なツルの渡来地“荒崎”，南に江内川、西に笠山も抱えるのどかな農村地帯にある。児童は純朴で明るく、楽しく学習や運動に一生懸命取り組んでいる。

本校は江内中学校との小中一貫校8年目に入った。「夢をもち、想いを伝える」を教育目標に掲げ、9年間の一貫した教育で、ふるさとを大切にし、知・徳・体の調和のとれた「江内っ子」の育成を目指している。

また、読書活動においては学校の読書指導目標「読書意欲をより一層高め、心豊かな子供を育てる。」の実現に向け、一年間の読書目標冊数を、低学年120冊、中学年100冊、高学年80冊と設定している。

さらに、学校のみならず家庭や地域、PTA、公共図書館との連携を大切にしながら、読書活動を実施し、6年間を通して、心豊かな子供を育てることを目標に取り組んでいる。

2 本校の読書活動

(1) 学校と家庭・地域と連携した取組



【ボランティアグループによる読み語り】

- ・月1～2回、低学年を中心読み語りを実施。
- ・大型絵本やエプロンシアター、校内行事や季節に関連した話、出水の昔話など。



【令和6年度図書館だより4月号】

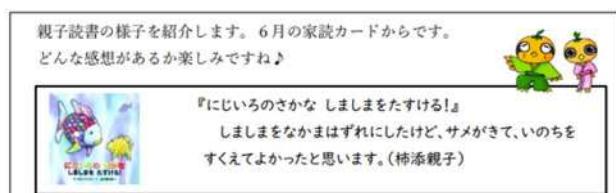
イ「家読の日」の取組

（毎月23日の「子どもといっしょに読書の日」を含む1週間を「家読ウィーク」と設定）



【家読カード】

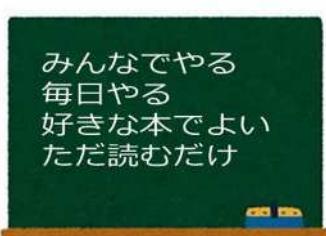
- ・学校が選定した家読推薦図書の中から本を読み、家読カードに記入。



【家読カードの紹介（図書館だより7月号）】

(2) 読書意欲向上に向けた取組

ア 日々の読書活動の取組



【朝読書の様子】

- ・「指定図書・家読図書カードの活用」
- ・朝読書の取組
- ・継続的な「おすすめの本」の記録



- ・校内読書広場の実施
- ・職員による読み語りや図書委員会によるお話会の実施
- ・読書郵便の実施
- ・読書標語・読書短作文への取組
- ・中学校の図書館見学

【ロール紙芝居】

イ 公共図書館との連携やPTAの活動



- ・移動図書館「いづみ号」の来校
- ・読書パネルの作成
- ・毎月1回「親子読書会」の開催



【「いづみ号」で本を借りる子供たち】

3 ボランティアグループ「虹色のゆめ」の方の想い

「虹色のゆめ」は、「子ども読書年」の平成12年4月に発足し、絵本や紙芝居等の読み語りを中心としたおはなしボランティアとして活動されている。ブックスタートからセカンドブック、親子読書教室、お話玉手箱と幅広く活動される傍ら、本校にも毎月1・2回来校し、読み語りを行っている。

「子供たちと交わり、お話を楽しむ顔に出会えることが何よりの喜び。」と言われ、まさに本と子供たちを結ぶ架け橋となつてくださっている。

4 成果と課題

〈成果〉

- ボランティアグループ「虹色のゆめ」の方の読み語り後、読んでもらった本を図書館で借り、友達にうれしそうに紹介する様子が多く見られた。
- 「朝読書」に取り組むことで、高学年では長編の本にも挑戦する児童も見られるようになってきた。

〈課題〉

- 読書の質の向上
- 「家読の日」の取組内容の見取りの難しさ

〈改善策〉

- ◇ 週末の課題として『図書館で借りた本を音読してタブレットで送ろう』という取組を始めた。

令和7年度 ボランティア予定表

月 日	活動内容
4月17日(木)	オリエンテーション
5月22日(木)	科学の読み物を知る 紙芝居を楽しむ
6月12日(木) 26日(木)	様子を考えて物語を読む
7月3日(木)	昔話を読む
9月11日(木) 25日(木)	乗り物の本や童話を読む
10月9日(木) 21日(火)	お話を考えて、絵本を作る 読書活動日本一の後援者の本の紹介
11月20日(木)	方言週間(桜島デコン)
1月15日(木) 29日(木)	大事なところに気をつけて、科学の読み物を読む
2月12日(木) 26日(木)	読んで欲しい本のリクエスト

※1・2月は3年生以上の学年への読みきかせも実施する。